

## 主な研究活動

### 運営委員会

#### 2009年度

- 第8回 12月16日 センター長の選任、2009年度訪問研究員の受入れ、2009年度派遣研究員のガイダンス 他  
 第9回 1月22日 研究協力者の委嘱、2009年度海外提携機関からの訪問研究員の受入れ 他  
 第10回 2月15日 2009年度予算の再配分、2009年度事業報告、2010年度事業計画 他  
 第11回 3月24日 海外提携機関との覚書の締結、2010年度研究担当者人事、2010年度運営委員会の構成 他

#### 2010年度

- 第1回 4月21日 2010年度研究員人事、2010年度予算配分(案)、2010年度研究体制、2010年度事業計画、2010年度海外提携機関との招聘・派遣募集要項、2010年度奨励研究募集要項、ニューズレター No.24の編集方針 他  
 第2回 5月26日 2010年度奨励研究審査、第二期研究事業計画の策定、関東震災班の公開研究会、展示企画  
 第3回 6月23日 北京師範大学・万建中氏との協議について、2010年度海外提携機関との研究員の招聘・派遣について 他

### 研究員会議

#### 2009年度

- 第4回 12月2日 センター長(任期2010年度・2011年度)の選出、ハイデルベルク大学との覚書の締結 他  
 第5回 1月20日 センター長(任期2010年度・2011年度)の選出、センター要覧2010年度版の編集 他  
 第6回 2月22日 2009年度事業報告、2010年度事業計画、2010年度研究担当者人事 他

#### 2010年度

- 第1回 5月6日 2010年度研究員人事、2010年度予算配分、2010年度研究体制 他  
 第2回 6月2日 2010年度海外提携機関との招聘・派遣、関東震災班「公開研究会、展示企画」、センター第二期共同研究の策定 他

### 研究会

#### 研究班

- 非文字資料研究ネットワーク形成共同研究・研究会 11月27日、2月4日、4月9日、5月28日、6月2日、25日、30日  
 マルチ言語版「絵巻物による日本常民生活絵引」編纂研究 11月25日、12月9日、16日、1月13日、2月2日、17日、3月8日、4月14日、5月12日、19日、6月9日、16日、23日  
 関東大震災の都市復興過程とそのデータベース化共同研究・研究会 12月7日、9日、18日、22日、1月12日、15日、20日、28日、2月8日、11日、13日、15日、25日、3月3日、10日、12日、18日、26日、4月7日、14日、26日、27日、5月10日、20日、26日、6月2日、8日、18日、25日  
 海外神社研究会 3月6日

### 現地調査

調査テーマ	日程	場所	調査メンバー
非文字資料研究ネットワーク形成研究のための情報収集	3月2日～3月4日	京都・奈良・神戸の各機関	福田アジオ、金貞我、富澤達三
	3月29日～3月31日	韓国(ソウル) Sung Sil 大学、キリスト教博物館	金貞我
『マルチ言語版絵巻物による日本常民生活絵引』の編纂共同研究	3月26日～3月28日	米沢 上杉博物館	金貞我
	6月4日～6月6日	京都・奈良 博物館	金貞我
関東震災後の都市復興過程とそのデータベース化、並びに資料収集	5月6日～8日	京都	高野宏康
	6月11日～12日	京都	高野宏康
非文字資料発信システム研究「地域統合情報発信の開発」	2月2日～4日	只見町	フレデリック・ルシーニュ、小松大介
	3月23日～24日	只見町	橘川俊忠
持続と変容の実態の研究 -対馬60年を事例として	3月8日～11日	対馬	橘川俊忠、津田良樹、本田加奈
中国・韓国の旧日本租界	3月15日～20日	中国(大連)	大里浩秋、孫安石、富井正憲

### 編集後記

本年は、当センターが発足して3年目になる。3年計画で実施してきた各研究プロジェクトも成果をとりまとめる段階に入った。その成果は、いずれ成果報告書、展示、シンポジウム、年報など、様々な形で発表することになる。非文字資料研究を少しでも進展させる内容とすることを期している。また、センターの活動のもう一つの柱である若

手研究者の育成や海外研究機関との交流などの面でも、COEの成果を引き継ぎ、ある程度発展させることができた。本号に掲載した、訪問・派遣研究員の報告は、その成果の一端を示すものである。センターは次の3年に向けて新しい研究計画を策定する作業を開始したが、その内容は次号において公表する予定である。